



## PRQA 社 主要製品である静的コード解析ツールの最新版をリリース

2017年9月12日

英国（ロンドン）に本社を構える PRQA 社は、静的コード解析ツール QA-C および QA-C++ の最新版（QA-C 9.3.1、QA-C++ 4.1）をリリースしました。最新版では、解析機能が更に向上し、GUI も改善されています。

PRQA 社の CEO 務める Paul Blundell 氏は、今回の最新版のリリースにあたり次のようにコメントを寄せています。

「静的コード解析によりコンパイル前にコードの欠陥を取り除くことで、テストやデバッグにかかる時間を短縮し、今まで以上のコード品質を実現しつつ、開発プロジェクトをより早く完了させることが可能になります。最新版を使用することで、ユーザは解析作業をより一層改善できるだけでなく、開発プロセスの全体を通して、それ以外にも様々な恩恵を受けることができます」

QA-C および QA-C++ は共に PRQA Framework 2.2 プラットフォーム上で動作します。このプラットフォームでは、以前のバージョンと比べてコーディングの欠陥をより少ない誤検知率でより早く検出することができます。短納期開発に対応するために、GUI のスライダで設定できる Diagnostic Severity Filter（解析結果の重大度別フィルタ）を利用して、解析対象を重大な欠陥のみに絞ることも可能です。また、最新版には、一つのプロジェクト内の複数ビルドに対する解析設定を管理するための機能や、翻訳単位間の関数パラメータの受け渡しによって生じる問題を検出するための機能も追加されています。

この他にも、最新版は MISRA C:2012 コーディングガイドラインに完全準拠し、CERT C セキュアコーディングスタンダードのサポート力も向上しています。

QA-C および QA-C++ は一般的に業界で使用されている IDE と連携することが可能です。また今回、GUI が刷新されたことにより、管理ツールがこれまで以上に使いやすいものになり



ました。製品開発サイクル全体に渡って、プロジェクト構成の管理やコードの欠陥とその修正のトレーサビリティを管理するための機能が、特に強化されています。

QA・C および QA・C++は、ソフトウェアコードの奥深くまで解析できるため、コードの欠陥の防止や検出、除去に役立ちます。また、自動的にコーディングガイドラインを適用することで、安全・セキュリティ規格への準拠をサポートし、ソフトウェアの保守性を高めます。

QA・C 9.3.1 および QA・C++ 4.1 の英語版をお試しになれる場合は、株式会社東陽テクニカ ソフトウェア・ソリューション宛にお問い合わせ下さい。

## **PRQA 社について**

PRQA 社は組込みソフトウェア用の非常に高性能なコード品質管理ソリューションを提供することで、安全性、セキュリティ性、信頼性の高いコードを開発者が安心して作成できるようサポートしています。PRQA 社のソリューションは、同社が 30 年以上をかけて蓄積してきた C および C++ プログラミング言語、そしてソフトウェア開発におけるベストプラクティスに関する幅広いノウハウをもとに開発されています。

###

## **Media Contacts**

### **PRQA**

Richard Walker

Email: [richard\\_walker@prqa.com](mailto:richard_walker@prqa.com)

Tel: +44 (0) 1932 88 80 80

### **Napier Partnership Limited**

Suzy Kenyon, PR Agent for Programming Research

Email: [suzy@napierb2b.com](mailto:suzy@napierb2b.com)

Tel: +44 1243 531 123

PRQA163uk

